

# 6年生 国語の学習を進めよう！

## 【音読してみよう！】

- ①言葉のもつ意味やまとまりを意識しながら、正しく、はっきりと読めるようにしよう。
- ②読み方や意味が分からない言葉は、辞書で調べてみましょう。  
→何となくわかる言葉でも、調べてみると新たな発見があります。その言葉と同じ意味をもつ言葉を知ったり、反対の意味をもつ言葉を知ったりすると、語彙力が高まり、様々な学習に役立ちますよ！
- ③調べてもよく分からない、辞書にのっていない言葉については、ふせんをはりましょう。  
ふせんを付けておくと、振り返りがしやすくなります。

## （さらにチャレンジ！）

- ①読んで感じたことを、感想文にしたり要約したりしてみましょ。5年生までに学習してきたことを生かして感想文を書けるとよりよいです。
- ②新しく知った言葉やなるほどなあとと思った表現を使って、自分で文章を書いてみましょう。物語の続きを書いたり、詩・俳句などをつくってみたりしてもよいですね。

## 音読するところ

### ①「春の河」「小景異情」P14・15

どのような風景かを思いかべながら、何度もくり返し読みましょう。教科書を見ないで、風景を想像しながら読めるようになるとすばらしい！暗唱にチャレンジしてみましょう！

「6年生の国語の学習の初めに、なぜこの二つの詩があるのか」を考えてみましょう。

### ②「帰り道」P17～33

語られる視点によってちがってくる登場人物それぞれの心情の変化を楽しみながら読んでみましょう。「それぞれの登場人物はどのような人なのだろう？」「二人の関係が変化するきっかけは？」「自分はどちらに似ているかな？」など、登場人物の行動や会話、心を表す表現から想像しながら読みましょう。

### ③「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間」P46～56

筆者の主張を伝えるために、どのような言葉が使われているでしょうか。また、筆者の主張を分かりやすく伝えるために、どのような事例を取り上げているでしょうか。筆者の考えに共感できるところや疑問に思うところなどを探しながら、音読してみましょう。

**漢字の学習を進めよう！（ページ番号は、スキルの下のはしに書かれています。）**

- ・漢字スキル27ページ「テスト6のたしかめ」まで進めます。正しく、ていねいに書きましょう。
- ・難しい漢字やよく使う熟語などは、漢字ノートにくり返し練習しましょう。